

InfoBarrier3 LogOption 制限事項

制限事項	詳細	備考
1 サポートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインマネージャ、サブマネージャは、Windows 2000 Server / Windows Server 2003 をサポートします。それ以外のOSは、サポート対象外となりますのでご注意ください。</li> <li>・ユーザー情報取得機能は、Active Directoryをサポートしています。Sambaを使用したドメイン管理は、サポート対象外となります。</li> </ul>	InfoBarrier LogOption MainManager と SubManager
2 メインマネージャ/サブマネージャの利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインマネージャとサブマネージャを使用する場合、クライアント端末からログを直接メインマネージャへ送信することはできません。クライアント端末のログはすべてサブマネージャへ送信するようにしてください。</li> <li>・メインマネージャは、クライアントからのログの受信要求を1台あたり200台まで同時に処理することができます。200台以上のクライアント端末のログを直接メインマネージャへ送信する場合、ログの送信時間をずらしてご使用ください。</li> <li>・サブマネージャは、クライアントからのログの受信要求を1台あたり200台まで同時に処理することができます。200台以上のクライアント端末のログをサブマネージャへ送信する場合、ログの送信時間をずらしてご使用いただくか、複数のサブマネージャをご使用ください。</li> </ul>	InfoBarrier LogOption MainManager と SubManager
3 Workgroupのユーザーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Workgroupに属するユーザーは手動で登録/削除できません。ユーザー端末からメインマネージャに初回アクセス時に自動的にWorkgroupのユーザーとして登録されます。</li> <li>・Workgroupに登録されたユーザーを削除することが出来ません。但し、新しいデータベースを作成するとWorkgroupのユーザー情報は全て削除されます。同様に、Active Directoryから取得したユーザー情報も収集したログ情報も全て削除されますので、ご注意ください。</li> </ul>	InfoBarrier LogOption MainManager と SubManager
4 添付ファイル付メール送信ログ(InfoMLog)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WindowsXP,WindowsXPSP1の環境で、InfoMLogが収集されません。</li> <li>・大量の添付ファイルがついたメールの場合、ファイル名を取りこぼすことがあります。</li> <li>・Webメールでは、SMTPとログの収集できる内容が異なります。</li> </ul>	InfoBarrier LogOptionのクライアント
5 アクセスしたURLログ(InfoULog)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・InfoBarrierのURLログ監視は30分間のサイクルで同一Webサイトへアクセスしたかどうかチェックしており、30分の間に同一Webサイトへアクセスしても、最初の一回目のログだけが収集されます。</li> <li>・NN7.1で収集したInfoULogのキャプション名が日本語の場合、文字化けします。</li> <li>・キャプション名がURL名から切り替わる場合、キャプション名がURLで表示される場合があります。</li> <li>・NN6.2、Sleipnirでは、InfoULogは、InfoULogを収集されません。</li> </ul>	InfoBarrier LogOptionのクライアント
6 印刷ログ(InfoPLog)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OperaからWebページの印刷を行うと、InfoPLogが収集されません。</li> </ul>	InfoBarrier LogOptionのクライアント
7 ファイル操作ログ(InfoFLog)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークドライブをファイル操作ログの監視対象のドライブに設定することができません。</li> <li>・ブランクメディアをファイル操作ログの監視対象のドライブに設定することができません。</li> <li>・ファイル操作ログを収集する設定で、フォルダ操作を行う場合にそのフォルダ配下のファイルのログを記録しないよう設定したとき、フォルダのコピー操作を行った場合にフォルダ配下のファイルのファイル作成、ファイル更新のログが記録されます。</li> <li>・ファイル操作ログを収集する設定で、フォルダ操作を行う場合にそのフォルダ配下のファイルのログを記録しないよう設定したとき、フォルダを監視対象外のドライブへ移動すると、そのフォルダ配下のファイル作成、ファイル更新のログが記録されます。</li> <li>・リムーバブルディスクを監視している状態で、リムーバブルディスクの取り外し</li> </ul>	InfoBarrier LogOptionのクライアント

InfoBarrier3 LogOption 制限事項

	制限事項	詳細	備考
		<p>を行う場合、ハードディスクの取り外し画面からでないと、デバイスを停止できないのエラーメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロッピーディスクドライブを監視する場合、端末の機種によってはアクセスランプが点灯し続ける場合があります。</li> </ul>	
8	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアントからサーバーへログを送信する設定で、サブマネージャを経由してメインマネージャへログを送信するクライアントとメインマネージャへ直接ログを送信するクライアントは、一台のメインマネージャ管理下に共存することができません。</li> <li>・APIフック技術を使用しているアプリケーションと共存することができません。</li> <li>・弊社製品PrintBarrierCorporateを使用する際、同一のポート番号を使用することができません。</li> <li>・弊社製品PrintBarrierCorporateを使用する際、InfoPLogが収集されません。</li> </ul>	InfoBarrier LogOptionのクライアント